

広報

ちば市老連

VOL.21
2004.9



第7研究部会「演じる」に出演のこてはし地区老連 音楽劇「思い出の記」

詩 花 束

千葉市老連広報部長 岩崎 榮則

ときめき色は

老いで色褪せるのだろうか

バラの薔薇が出番を待っているのに
いまほくのなかで暦をめぐる楽しみがある
やがてときめき色の風船が空で弾けるだろう
その十一月がまもなくやってくる

全国老人クラブ大会の開催地は我が千葉市

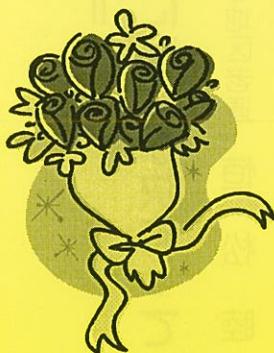
全国各地から集いくる仲間の顔は
大正・昭和・平成を重ねきた社会の鏡
時代を生きる証言者の集団に

ぼくは乾杯

そして語り合いつとも

夢を持つ老人は若者の顔になるだろう
ぼくは再び乾杯し

心の花束を用意する。



社団法人 千葉市老人クラブ連合会

■詩 花束

■ 第7研究部会演じる＝
創作活動に出演が決まって

■ 第33回 全国老人クラブ大会
千葉大会の成功を願って

■ 第33回 全国老人クラブ
千葉大会開催地として

■ 平成16・17年度
市老連を担う役員の紹介

■ 平成16年度
第1回女性リーダー研修会

■ 市老連会員研修旅行

■ お年寄りと幼児が
手遊びなどで触れ合い

千葉市老連広報部長
岩崎 榮則

こてはし地区老連
恒松 瞳子

千葉市老人クラブ連合会会長
長谷川 省悟

千葉市保健福祉局長
古川 光一

千葉市老人クラブ連合会副会長
岸岡 泰則

千葉市老人クラブ連合会副会長
高橋 平一

千葉市老人クラブ連合会事務局長
古山 昇

千城地区老連女性委員長
安藤 幹

教養部
持田 孝一郎

誉田保育所
七夕コンサート

■ お元気ですか 事務局だより

■ 第33回全国老人クラブ千葉大会を
成功させよう!!

・ 宮崎大会を顧みて

寒川地区老連
板倉 清隆

・ 千葉大会に期待すること

花見川区老連
花島 一二三

・ 「宮崎」馳せる思い

稻毛区老連文葉地区
石原 康子

・ はじめての大会参加で
感動の連続

誉田地区老連会長
徳田 重雄

・ 式典に参加して

美浜区老連
木藤 光輝

■ 第33回全国老人クラブ大会案内**■ 文芸**

■ 第33回全国老人クラブ大会の成功にむけて
市老連の区老連別参加者数

第7研究部会演じる＝ 創作活動に出演が決まって

こてはし地区老連 恒松 瞳子



昨年、市老連の芸能大会で私たちの音楽劇「この思い出の記」が市長賞の栄に輝き、皆で楽しみながら作り上げ努力を重ねてきた賞だと思いました。このたび市老連の推薦で十一月の全国老人クラブ大会第一日目の第七研究部会の演じる＝創作発表活動に出演することになりました。二重の喜びです。音楽劇「思い出の記」は簡単に人の一生を音楽で綴った、赤ん坊、幼稚園、小学校、中学校、高校、恋人、結婚式、金婚式という形で表現します。最後に出演者も会場も一体となり「手の平に太陽に」の合唱です。十一月十日の出演まで猛練習の日々です。どうぞご期待下さい。



第三十二回 全国老人クラブ大会 千葉大会の成功を願つて

千葉市老人クラブ連合会 会長 長谷川 省悟

全国老人クラブ大会は、毎年一回全

国の都道府県・政令都市が会場となり開催する全国老人クラブ連合会の最大行事であります。

このようない全国規模の大会が、本年十一月十日・十一日の両日千葉市において開催されることは初めてであり大変光栄であると共に責任を感じております。

全国から来葉される老人クラブ代表約二千名の方々が『千葉市へ来てよかつた』『また千葉市へ行つてみたい』と思われるよう、千葉市長鶴岡啓一様を始め九十一万市民が心から歓迎申し上げますと力強いご支援を市当局から頂いております。

私たち千葉市老人クラブ連合会も全力をあげて他県・他市の皆様のサービスに当たりたく会員のご支援ご協力を

お願い申し上げます。

大会では、「創造と連帯の輪を広げて一心豊かな二十一世紀を」メインテーマに介護予防・健康づくり、友愛活動、老人クラブのPR・広報活動、加入促進の手立て、魅力あるクラブづくり、次世代育成支援活動、会員の創作発表活動など、七つの研究部会と総会・式典などを予定しております。

世紀は高齢者の活力と人間性の豊かさが問われる時代です。
「明るく豊かな心に満ちた二十一世紀を」われわれの手で、若い世代の人達と創造と連帯の輪を広げてともに築くためにも、この大会を開催する意義が大であるといえます。

この大会には、千葉市老人クラブ連合会からの参加者は、十日の研究部会に約二百名、十一日の総会・式典には、オープニング（県老連音頭の踊り）に約百五十名と総会・式典に約三百五十名、その他に受付・案内・接待・警備などに、一日間で約一百名の、ご協力ををお願いしております。

そして経験と知恵と能力を自らと社会のために活かすべく、連帯と共同の交わりを深め、その輪を広げつつ、二十一世紀を迎えてきました。

『高齢者の世紀』といわれる二十一

全国老人クラブ大会千葉大会の成功と会員の団結を願つて。



第三十二回全国老人クラブ 千葉大会の開催地として

千葉市保健福祉局長 古川光一

私は、七月六日付人事発令で、保健福祉局長を拝命いたしました。

千葉市老人クラブ連合会の皆様には、引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて、今年の十一月十日、十一日に、全国老人クラブ連合会、千葉県老人クラブ連合会並びに千葉市老人クラブ連合会主催による第三十三回全国老人クラブ千葉大会が、本市を会場に開催されます。

これから、わが国が迎える超高齢社会においては、高齢者自らが生きがいを高め、健康づくりを進める活動やボランティア活動を行う老人クラブの果たす役割は、非常に重要であると考えています。

参加者の皆様には、折角の機会でありますので、千葉市の街を存分に観ていただきたいと存じます。お越しを心からお待ちしております。

本市においても、現在、一万七千人余りの高齢者の方々が、老人クラブに加入され、各種サークル活動、スポーツ大会、社会奉仕活動などに積極的に参加されております。

このような全国規模の大会が、本市において開催されることは、大変光栄であり、全国から来葉される老人クラブ代表の方々約二千名の皆様を、鶴岡市長を始め、九十一万市民が心から歓迎申しあげます。

本大会の開催は、今後の老人クラブ活動の活性化と千葉市老人クラブ連合会の発展さらには本市の福祉行政に寄て一心豊かな「二十一世紀を」をメイン



平成16・17年度

市老連を担う役員の紹介

平成十六年五月二十六日、第十八回通常総会及び、その前後、それぞれの区老連・地区老連総会で、次のとおり役員が決定いたしました。

市長	長谷川省悟	(中央区)
副会長	岸岡 泰則	(若葉区)
副会長	高橋 平一	(中央区)
副会長	女性委員長	
常務理事 (事務局長)	狩野 喜美	(稻毛区)
理事	古山 升	
理事	藤井 義孝	
(千葉市高齢福祉課長)		
理事	永野 芳俊	(中央区)
理事	松林 増雄	(中央区)
理事	古市 満雄	(中央区)
理事	山田 (中央区)	
理事	玉枝 (中央区)	
理事	天羽 喜公	(中央区)
理事	雅光 (花見川区)	



(地区老連)

花見川区

女性委員長	小高 教子
松ヶ丘 会長	中村 達
女性委員長	村上富美子
蘇 我 会長	月崎 孝
女性委員長	山田 玉枝
生 浜 会長	天羽 喜公
女性委員長	御園喜久江
花見川 会長	荒畠 雅光
こてはし 会長	花島 一三
女性委員長	内藤 正子
検見川 会長	荒井清一郎
女性委員長	岡田 いと
幕 張 会長	鈴木賢市郎
女性委員長	東條 とり

稻毛区

稻毛 伊藤	忠房
女性委員長	金子トキ子
小仲台 会長	中川 正雄
女性委員長	日暮 初江
北 会長	小川 敏
女性委員長	千葉 照子
文 葉 会長	浦野 輝夫
女性委員長	石原 康子

若葉区

若葉 会長	岸岡 泰則
女性委員長	来生 三
千城 会長	香取 敬三
女性委員長	安藤 幹
都賀 会長	駒田 光代
女性委員長	高梨 良藏
白井 会長	渡辺 達磨
女性委員長	菊江 重雄
椎名 会長	小関 澄子
土氣 会長	岩崎 荣則
女性委員長	岡田 芳夫
女性委員長	大村 田上 安子
女性委員長	金巻 昭二
女性委員長	本多 弘
女性委員長	高洲 会長
女性委員長	真砂 会長
女性委員長	田上 安子



市老連
副会長
高橋 平一

顔



市老連
副会長
岸岡 泰則

新鮮な感覚を失わずに

五月の総会に際しまして、副会長の職に選任されました。全く過分のことと痛感しておりますが、皆様方のご協力を頂き、微力ながら努力したいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

ご承知のように、昨今、老人クラブはさまざまな課題に直面しておりますが、私達の老人クラブは、おりますが、私達の老人クラブは、私達が創り、育て、支えあつてきました組織です。私は会員の地道な日常活動が連合組織を通じて集約され、社会的意義を高め、そのことが次世代に伝承できる価値あるものと感じております。

齢（よわい）を重ねても、新鮮な感覚を失わないこと念じながら、就任のご挨拶とさせて頂きます。

事務局

事務局長	古山 昇
職員	小林 隆直
得重 一枝	佐々木陽子
小笠原直子	

自白紹介



事務局長
古山 昇

安定感から安心感へ

跳子の「てんでんしおぎ」は、

漁船が時代に遭った時に、夫々が自分の船をしのぎ切る事で、他人の船にはかまつていられない」という意味である。単位老人クラブや地区老連はこの状態にあるのではなかろうか。市老連は安定感のある母船や港の役目を果たして、安心感のある老人クラブの活動支援を心掛けているが、山の彼方の空は未だ遠い。

1年半後に女房もクラブをやめて、(というよりは、やめさせたといつた方が正しい)今は地元と一緒にプレーを楽しんでいます。彼女は高校時代にインターハイで準優勝しているだけあって、技術の差は依然として縮まりませんが、健康維持のためにと思って続けています。

今年は「全国老人クラブ千葉大会」、来年は「関東甲信越静づくクリーダー研修会」と2年続けての大きな大会の年に、市老連で仕事をするのも何かの巡り合わせ。やるからには全力で望みたい。皆さんのご協力をお願いします。

れ、楽しく過ごすことが出来たと思っています。

趣味

テニス、小旅行

湯浅前事務局長の後任として、4月1日付で事務局長に就任しました。よろしくお願ひします。

前職

稻毛区福祉事務所に2年。その後が、美浜区地域振興課に1年半と区役所には3年半在籍していました。

抱負

仕事上、町内自治会や老人クラブ、民生委員・児童委員協議会などの団体と接する機会が多く、いろいろな方々との出会いに恵ま

れ、楽しく過ごすことが出来たと思っています。

平成16年度 第1回女性リーダー研修会

千城地区老連女性委員長
安藤 幹

平成16年7月20日（水）9時50分
千葉市役所8階 正庁

演題 「『」飯がおいしく
食べられていますか？」

講師 法花堂歯科医院長
法花堂 治 先生

要旨

日本人の平均寿命は女85・33才（1985年から世界1位）、男78・36才（世界第3位）となり長寿国日本となりましたが、さて歯の寿命はとなりますと一本も歯を失わない人だと28本（親知らず歯を入れず）あることになり、70才で20本残っている人は良い方。80才では平均8本となり、50才を境目に歯を失う人が多くなるとのこと。これでは歯周病が原因で、今は早めに治療すればなおるので「80代」つまり80

才で20本の自分の歯があることに希望がつながることになる。

そのためには

- (1) 健康な歯は正しい歯みがきから
- (2) 歯の定期検診が大切
かかりつけの歯科医を持つこと。
但し歯科医が近いというだけで選ばない。
- (3)

削らない。患者さんが納得する迄説明する。正しい歯みがきを指導。定期検診をすすめる。記録写真を撮る（歯科医が自分の処置に責任を持つ）。自己研鑽する。

・良くない歯科医

すぐに歯を抜く。説明しないで治療する。患者さんをおこる。入れたものがすぐ取れる。入れ歯が痛くて噛めない。定期検診を勧めない。

- (4) どんな歯ブラシを選ぶか
幅…毛が3列で小さいネット。
硬さ…柔らかい毛のものを選ぶ。
ネットの形態…真っ直ぐがよい。

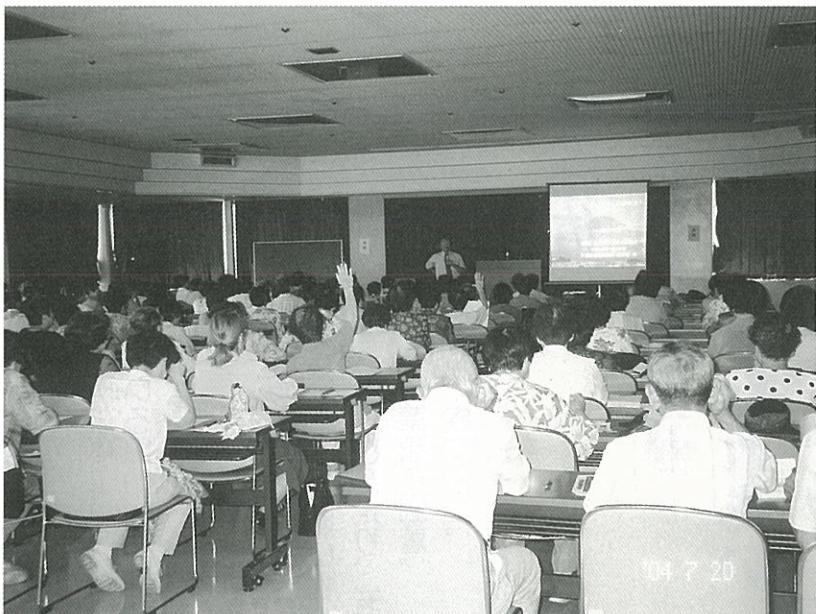
・良くない歯みがき粉

歯みがき粉は研磨剤の入っていない粉素入りがよい。

- (6) いい入れ歯を入れましょう

今ある歯はずつと残すように大切にし、今歯が欠けている人は入れ歯を入れる。

いい歯を入れると笑顔美人となり、なんでもよく噛めるようになるので、ご飯がおいしく食べられる。歯を大切にすることは食べるものの幸福となり、心と身体の健康に大切なことである。これは先生の力強い結びの言葉でした。



・良い歯科医
出来るだけ歯を抜かない。いい歯を

市老連会員研修旅行

教養部 持田孝一郎



七月八日梅雨の最中とは言え、暑くなりそうな予感の朝、一行ハ十六名はバス二台に分乗、途中事故や怪我の無いよう心に祈りつつ千葉NTT前を出発。

先ずは、御殿場の秩父宮記念公園を見学、一万八千坪の敷地の中の殿下ゆかりの展示室や手入れの行き届いたお庭を拝見、登山姿の宮の像を仰いで、昭和の一頁を振り返った。

伊豆ワインナリーはその建物の素晴らしいしさに加え、ワインの数の豊富さに驚かされた。

一路、下田に向かう車中で、長島愛子さんの指導による歌のレッスンに盛り上がりながら、伊豆の海を見晴らすホテルに五時前に到着。

懇親会では、役員の挨拶の後、宴会となり歌あり踊りありで、日頃の練習の成果を十二分に發揮し、最後は千葉踊りで閉幕となる。

明けて九日、下田開国四十五年の史跡を訪れての研修。伊豆下田資料館で下田お吉や吉田松陰の事を学び、港のペリー率いる黒船を散策した。嘉永七年、日米和親条約により下田の開港が決まり、ペリー率いる黒船が続々と下田に入港。「大平の眠りをさます上喜撰（蒸気船）たつた四はいで夜も眠れず」当時の人々の慌てさまを詠んだ狂歌もあります。帰路は伊東ハトヤ大漁苑で昼食と買い物、気温もうなぎ昇りの中をバスはひた走り、五時半、一人の故障者もなく千葉駅に到着。海と光との馳走を満喫した旅でした。

この日は、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に、児童さんが折り紙でお星様や三角、貝殻つなぎや輪つなぎなどお七夕飾り作りや、オペラのセミプロとして活躍中の鈴の会（松本久美子代表）を招き、「七夕」や「童の歌」「通りやんせ」など、昔懐かしい童謡・唱歌を合唱。また、手遊びをしたりで、楽しいひとときを過ごした。



お年寄りと幼児が手遊びなどで触れあい

誉田保育所「七夕コンサート」

地域発信

「ひと足早く七夕気分を楽しもう」と、7月6日、千葉市立誉田保育所（村松憲子所長）に通所する児童とその祖父母、地元老人会メンバー、地域の親子ら約130人が一堂に集い、「七夕コンサート」を開いた。

今年で3回目となつた同コンサートは、地域活動事業年間計画のひとつで、世代間交流と異年齢交流を図るうと行われているもの。

誉田町）は、「小さい子供たちと触れあつていると、心がいやされ元気をもらつて樂しいんですよ」と笑顔で語った。

同保育所では、9月にも敬老の日になんで、地域の親子らを招いた催しを開く予定という。

元気ですか

日頃のご協力に
感謝いたします

事務局だより

女性委員会研修旅行

▼四月十四日～十六日

約八十名参加

第一日は伊那梅園で美しい花々を観賞。広い梅園は梅、桃、

れんざよう、すいせんなどちょうど満開で色とりどり、百花繚

乱であった。その後、長岳寺で住職の講話を聴き、尾神温泉ユ

ルイの宿「恵山」に泊まる。二日目は根尾谷の樹齢千一百年の

薄墨桜を見学するが、すでにほとんどの散花の状態であった。この日は長良川温泉に泊まる。

三日目は、オープントしたばかりの「浜名湖花博」を見学し、帰路に着く。

第十八回通常総会

▼五月二十六日

文化センターで開催。

最初に、市長感謝状授与（五名）及び市老連会長表彰（団体七クラブ・個人十二名）があり、その後総会に入り、次の議案を審議した。

一、平成十五年度事業報告及び収支決算報告

関東甲信越静ブロック老人クラブブリーダー研修会

▼六月十四日～十六日

会場は、ローズホテル横浜

三、役員の選任について（別掲）

歓送迎会

▼六月八日

ホテルグリーンタワー千葉で役員の歓送迎会を開催。



特選演芸会

▼六月十五日

市民会館大ホールで開催

毎年恒例となっており、樂しみにしている会員も多く、今日は浪花のちび玉（子役）が出演し、涙と笑いの連続であった。

民踊講習会

▼七月十四日

ポートアリーナ（サブ

石川美豊香先生の指導で、「がんばれ音頭」「銀座カンカン娘」を教わった。受講者は各自所属クラブで指導し、皆で機会あるごとに踊り、親睦と健康増進に役立てている。

今年度開催当番である横浜市老人クラブ連合会の主催により開催。当会より十二名が参加した。関東ブロックの老人クラブは四つの分科会に分かれ事例発表などを通じ、互いの経験と知識を交換し交流を深めた。表彰式では、老人クラブ育成功労表彰で美浜区の本多昭二理事が受賞した。来年度は当千葉市老連が主催する。

会員研修旅行

▼七月八日～九日実施。

参加者八十六名が千葉駅前を八時に出発。天気は快晴で、心配していた渋滞もなく、予定より早く秩父宮記念公園に到着し、



第一回 女性リーダー研修会

▼七月二十日

市役所八階正庁で開催。

「ご飯がおいしく食べられていますか」をテーマに、歯科医師の法花堂治先生（稻毛区在住）が口腔内の映像をもとに歯の治療と健康維持の仕方についてわかり易く講演された。



マレット、ゴルフ大会

園内をガイドの説明を聴きながら散策した。昼食後、中伊豆ワイナリーでワインを試飲後、天城峠を越えて下田温泉へ。翌日は下田歴史散策で、下田郷土資料館を見学。その後猛暑の中、ペリーコードを海岸まで往復しのとおり。

た。今回の旅行は時間的にゆとりがあり、ゆつたりとした癒しの二日間を過ごし、早めの帰着であった。

●団体

優勝 内山老人クラブ
(花見川区)

準優勝 若松台ふれあい広場
(若葉区)

第三位 許田Cチーム(緑区)

▼八月六日から九日まで千葉市文化センター五階の市民サロンで開催

優勝 菊沼安助
(若松台ふれあい広場)
準優勝 鎌形喜作
(許田Cチーム)
第三位 坂本義雄(寒川)

文化センター五階の市民サロンで開催

文化センター五階の市民サロンで開催



第三十九回 老人クラブ会員作品展

市長賞 加太 鶴葉
市老連会長賞 陶芸 宮原 秀夫
書 手工芸 野田 操子
金賞 大久保壮一
写真 彫刻 畠本 二階 もと
絵画 久保 栄一
書画 川島 浩子
手芸 鎌田 アキ
陶芸 大木千恵子
他に銀賞・佳作・シニア賞あり。

丁頃、会員が熱心に制作した作品を展示し、会員はもとより一般市民に高齢者の持つ深い経験と力量を知つてもらい、また会員自身の生きがいの高揚を目指す。毎年開催しているが、今年もプロ顔負けの作品が多く、どれも甲乙つけがたい傑作であったが、審査の結果は次のとおりである。

丁頃、会員が熱心に制作した作品を展示し、会員はもとより一般市民に高齢者の持つ深い経験と力量を知つてもらい、また会員自身の生きがいの高揚を目指す。毎年開催しているが、今年もプロ顔負けの作品が多く、どれも甲乙つけがたい傑作であったが、審査の結果は次のとおりである。

第33回 全国老人クラブ千葉大会を 成功させよう

特集

思いを込めた一かけ橋
宮崎大会から千葉大会へ



宮崎大会を顧みて

寒川地区老連 板倉清隆

昨年の十一月二十六、二十七日両日、宮崎市において、全国老人クラブ大会が実施され、本年は、我が千葉県、千葉市が共催開催される事が決定されることはすでにご案内の通りです。以下大会の概要について、述べさせて頂き

ますと、地形的に、風光明媚で思い出深い、方々もおられると思います。まことに別れ、部会毎には、座長、助言者、幹事、記録、発表は五地区の、発表者で、各部会毎の人員は、一二五〇名程度で午前中発表会で午後は質疑により、午後四時に終了、大変有意義に終わる事が出来ました。次に翌日は総会で、厚生省、全老連、地元知事、市長、各議会議長さんの歓迎挨拶がなされ、特に全老連見坊副会長より七部会の討議内容について詳細に報告され、又地元の方々の舞には郷土色豊かで好評の間になりました。

所見 全国老人クラブ大会に際し、地元の皆様方に心温まる歓迎を頂き感謝いたし、本年は、ご恩返しする時期が参りました。市老連におきましても、着々と指標がなされておりますが、特に会場が分散され、案内、接待等大変と思われますが、何としても、皆様方の心強い、ご支援があつてこそこの大会ですので、盛会の内に終わりたいと思います。

千葉大会に期待すること

花見川区老連 花島一一三

全国老人クラブ千葉大会を数ヶ月後にひかえ我々としては、期待と限りない不安とが錯綜する連日であり、全国から一千人を超える方々を千葉にお迎えするのであり並大抵の事ではありません。

それに千葉市では東京に隣接するとは言え、必ずしも交通の便が良いとは言えないし、道路事情も決して誇れるものではなく、それと致命的なのは、

観光見学していただく観光施設の少ない事もあり、お迎えする側としては、頭の痛い処であります。

しかし折角の機会であり、私共にし

ても、又全国各地から参加される皆さんにとつても有意義な大会ですので、不安ではあるものの、楽しみながらその成果を期待したいと考えて居ります。

二日間にわたる大会には、各研究部会での事例発表の場もある事から、私共のクラブにとつて特に苦労して居る会員の増強と、退会の防止等について、この千葉大会がインパクトとなつて、魅力ある老人クラブ活動が行われる事を期待するものです。

全国から参加いただいた皆さんに、「千葉は良かつた」の印象を与える様に努力し全員が一致協力し、この全国大会を成功させ様ではありますか。



「宮崎」馳せる思い

稻毛区老連文葉地区 石原康子

神代の国宮崎を訪れたのは、昨年の十一月第三十二回全国老人クラブ大会が開催された時でした。今年十一月に千葉市で開催される大会に先立ち、宮崎の方々の奮闘振りを勉強させていただきました下見のお役もかねていました。ここに、その時の感じたことをお伝えしたいと思います。

交通機関関係

見知らぬ土地への第一歩は、期待と不安がいっぱい、宮崎でも空港へのお迎えを受け、安堵感と親近感を抱きました。又宿泊ホテルから会場移動の時には、近くてもバスの送迎がうれしく、助かりました。

研究部会会場

配布資料のことと係が何を袋に入れか少し戸惑っていたが、少なくて軽くてよかつたと思う。大会ともなると別便で送る程で、簡素化は大賛成です。微笑ましく思つたのは、昼食のお弁

当の上の紙に、第三十二回全国老人クラブ大会、宮崎大会と印刷されていたことでした。お味もよく量も残さないでいただけました。

参加者交流のタべ

サミニットが開催されたという広い会場では、ご自慢の大きなシャンデリアが、優雅に美しく輝いていました。全国の銘酒がずらりと並ぶ飲み放題企画に、びっくりでしたが、有意義で楽しい交流の輪が広がっていました。郷土芸能の素晴らしさには、感嘆するばかりでした。混声コーラスは、宮崎市老連のグループで十四年十月に結成され、月二回の練習の成果だそうで感心しました。もうひとつホテル側の対応だったのでしようか、出入口やエスカレーターの乗りつけのフロアには、かならず一人たつていらして笑顔で言葉をかけたり、安全確認をして下さっていました。大勢の方のお心にふれ、スケールの大きな元気をいただいた大会でした。引き継ぎでは、大役をいただく千葉の挨拶もパンフレットも素敵で、誇らしく思いました。

この度「おみやげ」作りの大変さを実感した私が、物を贈る「現在のあり方を考えて」と呼びかけたく思うと同時に、心からの「ふれあい」を大切に、皆様をお迎えしたいと思っています。

はの歓迎で成功させましょう。

実感した私が、物を贈る「現在のあり方を考えて」と呼びかけたく思うと同時に、心からの「ふれあい」を大切に、皆様をお迎えしたいと思っています。

式典に参加して

美浜区老連 木藤光輝

東京大会・宮崎大会の式典に参加して、参加者数の多いのには驚かされた。その中で私が印象に残ったことは、東京大会では、天皇皇后両陛下のご臨席まで警備上の理由で、会場より出入り禁止の状況下、両陛下の足を留め、救急患者を優先させた、介護係の英断に驚嘆した。宮崎大会では、案内係がユニークホームや県老連旗等で一目で判る様に統一され、わかりやすかった。又、参加者から土産物を相談された時、出身県を聞き、口持ちの良いお菓子や、魚の加工品等をすすめて居り、事前の研修会の躾教育が目にうかんだ。

私の故郷でもある神話の国日向での開催が何よりも嬉しかった。宮崎空港に到着後、大会前の観光を楽しみ里帰りの気分を味わった。大会一日目の研究部会は第三研究部会「老人クラブ会員加入促進展開」に参加した。老人クラブにとってもっとも大きなテーマと思つたからだった。参加者の真剣な討議がとても印象的だつたし多くの事例を学んだ。

大会二日目はオープニング、総会、式典。地元の熱烈な歓迎に感動しきりだつた。十一月、千葉市で開催される全国老人クラブ千葉大会で千葉ならで

いかなる事柄にも狼狽する事なく、

全国から集まる参加者を、楽しく迎え、満足し心豊かに送る様な、千葉大会にしたいと思つ。



宮崎大会の分科会



宮崎大会の「演じる」創作発表活動

第33回全国老人クラブ大会案内

メインテーマ 創造と連帯の輪をひろげて－心豊かな21世紀を

日程及び会場

平成16年11月10日(水)・11日(木) いずれも千葉市内

1) 第1日目——研究部会 (11月10日)

9:30	10:30	12:00	13:00	16:00
受付	研究部会	昼食	研究部会	

2) 第2日目——総会・式典 (11月11日) 千葉ポートアリーナ

9:00	9:30	12:00
表彰 受付	総会・式典	

第1日研究部会 (11月10日(水)10:30~16:00)

部 会	テ ー マ	会 場 (予定)
第1 研究部会	みんなで健康な心とからだをつくろう －老人クラブの介護予防・健康づくり－	幕張メッセ国際会議場
第2 研究部会	「在宅福祉を支える友愛活動」の推進	幕張メッセ国際会議場
第3 研究部会	老人クラブのPR(広報)と加入促進の展開	幕張メッセ国際会議場
第4 研究部会	都市部における魅力あるクラブづくり	ホテル ポートプラザちば
第5 研究部会	老人クラブの次世代育成支援活動 (パネルディスカッション)	ホテル グリーンタワー千葉
第6 研究部会	若手高齢者の組織と活動(パネルディスカッション) －若手がいきいき活動するクラブづくり－	ホテル グリーンタワー千葉
第7 研究部会	演じる－創作発表活動－	千葉市文化センター

第2日 総会・式典 (11月11日(木)9:30~12:00)

受付 オープニング 【総会】	9:00~9:30 県老連音頭 9:30~9:55
研究部会報告	
アトラクション 【式典】	10:00~10:30 跳子大漁節、木更津甚句 10:50~12:00

文芸

俳

句

文芸

青蒿にて 廃屋一棟 包まれて
木陰にて ほっと一息 夾竹桃

むつみ鶴の会

高橋 平一

酷暑とは 覚えず朝の 空の色
乾きたる 緑を深く 今日の梅雨

登山帽の 秩父宮に 杉昏し

川上 きぬ

舟虫や 苦み走りし ペルリ像

咲き終えし 実を軽々と 瞿粟坊主

白南風や 松陰嘆きの 海の果

海に入る 運河を冷ます 夾竹桃

木村 タカ

稻毛台睦会 俳句の会

○中山 華子

河島笛 耳に至福の 露天風呂

副部長 工藤 和正 (若葉区)

甘酒の 分厚き茶碗 旧街道

部員 天羽 喜公 (中央区)

愛鷹山を 踏まえてひろし さつき富士

花島一二三 (花見川区)

細井 弘子

安原 敏郎

探梅や 道の端かざる あでやかさ

小川 敏 (稻毛区)

あじさいや 予報はずれの 小雨映え

千葉 照子 (女性委員会)

初午や かすかに響く 笛の音

國府 常藏 (美浜区)

盆参り 父母も見てるか 風涼し

○富田 きん

佐藤 茂子

担当副会長

岸岡 泰則

広報部で～す よろしくお願ひします

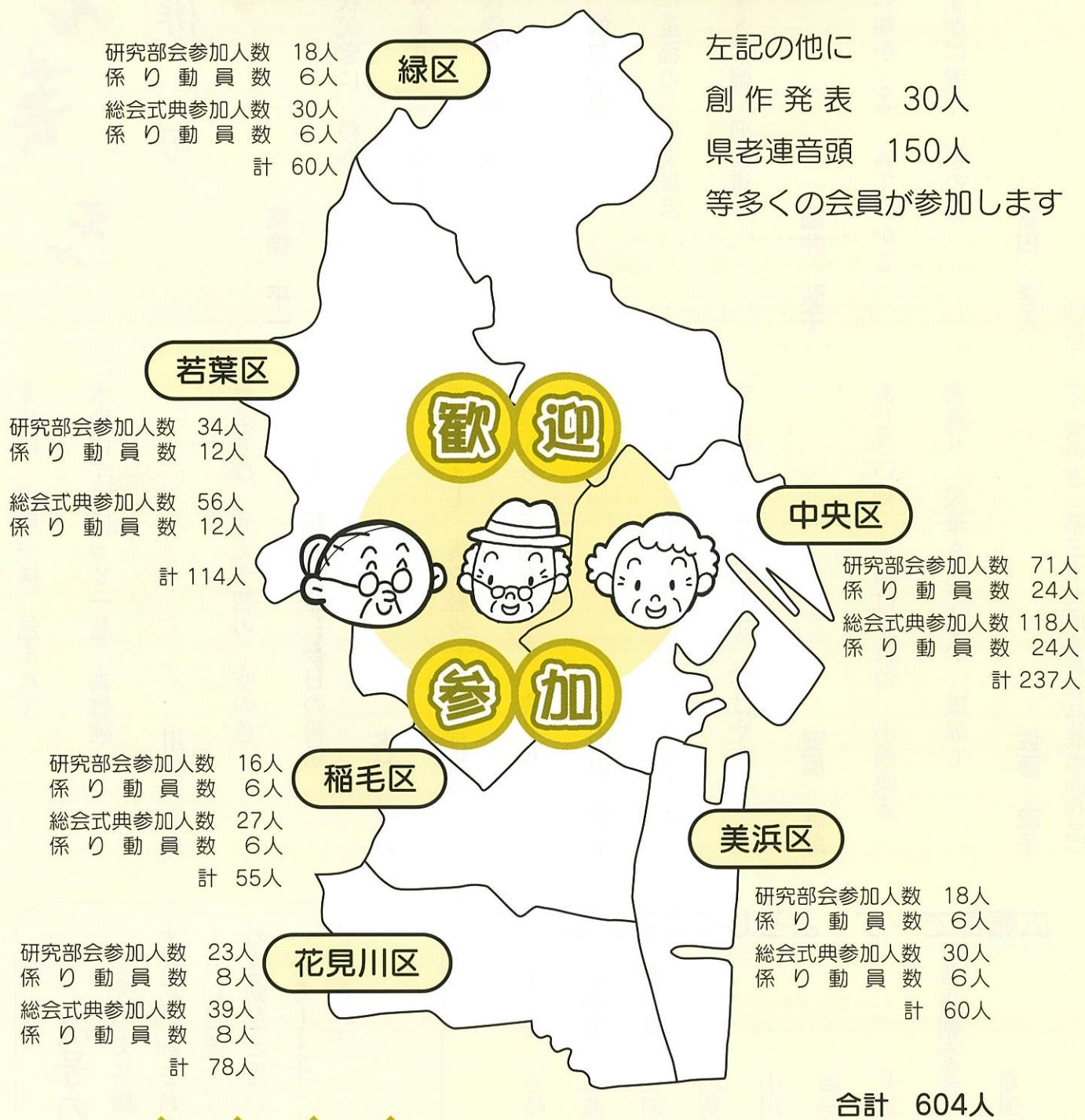
次号のお願い

次号の文芸欄で、全国老人クラブ大会に参加された方々の作品を掲載したいと思っておりますので、大会の感動など思いを重ねた作品をお願いいたします。作品は事務局にお寄せ下さい。

広報部

第33回全国老人クラブ大会の成功にむけて

市老連の区老連別参加者数



編集後記

- ◆新広報部にとって第1号をお届けします。
- ◆前広報部長の廣居さんが広報部長の辞任とともに市老連を去ったことは痛恨の思いです。長い間、広報部の顔として「ちば市老連」はもとより市老連三十七年史の編纂・発行な

ど、その足跡は多大だからです。

◆その広報部の顔を失ったなかで「三人寄れば文殊の知恵」で目線は会員に向いて心がけたいと思います。

◆全国老人クラブ大会で多くの経験を学び知恵を吸収する絶好の機会です。

(岩)